



山口 晋平 県政報告

第9号

2018年 新春

いかに生きるか

山口 晋平

皆様におかれましては新年をお健やかに過ごすごしのこととお慶び申し上げます。



一般質問

平成30年、干支は戌戌（つちのえいぬ）含意は「古いものを終わらせ、新しいものを育てる」というふうです。皆様それぞれが今年の目標や抱負などを立てて決

意を新たにされておられると思います。私の抱負は「自立」です。他からの支配や助力を受けずに存在するという意味ではなく、他者との共生のなかで個が自立していくこと。昨日の自分を乗り越えるための努力、前進を心がけて今年も頑張ります。

今年には兵庫県の成立から150周年を迎えます。また行財政構造改革の総仕上げの年でもあります。行財政構造改革とは、阪神淡路大震災で悪化した財政を立て直しながら時代の変化に対応し、県民の要請に的確に答えることができるよう持続可能な兵庫の基盤を作るための取組です。その確固たる行財政基盤のもとで、県民連携の150周年事業や地域



末松信介参議院議員に陳情

創生を実現する施策（平成30年度予算）を来月2月から始まる議会にて審議します。



石破茂衆議院議員と意見交換会

未来学者のレイ・カーツワイルは「2045年に機械が人間を超える日、『シンギュラリティ』が到来する」と予測しました。人工知能（AI）が人間の頭脳を超える時代が到来するということとです。人間のおこなっている職業の9割が人工知能に取って代わるといわれています。



スマートフォ

ンを例にとっても、なんで自分の趣味や嗜好を知っているのだろうと、AIの性能の高さにビックリすることも多いと思います。私はその度に大きな期待と危機感を感じます。ロボット・AIを活用しているつもりが、いつの間にかロボット・AIに使われてしまうのではないかと。そんなAIが人間社会を席巻してきたとしても、我々に大切なことは「人の生きがい」「どう生きるべきか」等について確固たる志だと思えます。そんな時代だからこそ、自己実現だけでなく他者に対する「思いやり」とか「まごころ」、利他的な思考・行動、経済的豊かさだけでなく精

9月9日 政経セミナーを開催させて頂きました



講師は参議院議員 山田宏先生。

「日本の国益と尊厳を護る」という信念で、言にくいことも言い、やるべきことをやる、と実際に行動を興されています。山田宏先生に「これからの日本と地方自治」と題して講演頂きました。

日本は一流の国を目指すべきで、その良識を高めるためにも教育の重要性を言及されました。杉並区長時代にされた改革についても、覚悟を決めて行動することの大切さを説かれました。

私を含めご参加頂いた皆様の心にも深く刻まれたと思います。



大雨の被害を視察、たつの市内



山口つよし衆議院議員に陳情

平成30年が皆様にとって素晴らしい年であり、ますますに、また皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

安全安心なまちづくり、地域の元気づくり、農林水産業の発展、自立した人づくりを目指して今年も力を尽くす覚悟です。

神的豊かさだけでなく双方の豊かさ、それら全てで幸福感を味わうことができるのだと思います。その大切さを多くの方と共有したいと願っています。そのことが地域創生であると確信しています。

ミニ集会のお願い

県政だけでなく身近な問題やご提案など一緒に語りませんか。

ざくばらんにミニ集会をさせて頂ければと存じます。お問い合わせは右記事務所までお願い致します。

山口晋平事務所

〒679-4109
たつの市神岡町東薺崎550-201

TEL 0791-65-1919
FAX 0791-60-3677

E-mail shimpei1110@gmail.com

山口晋平 ブログ

何でも
ご意見ください

検索

プロフィール

- ◆昭和52年11月10日生 ◆たつの市龍野町島田生まれ
- ◆龍野市立小宅小学校 ◆龍野市立龍野東中学校 ◆兵庫県立龍野高等学校（48回生）
- ◆鳥取大学教育学部 総合科学課程理数情報コース卒業
- ◆平成12年7月より、衆議院議員 山口つよし秘書を務める
- 家族：妻、長男 趣味：読書、テニス 血液型：B型 好きな言葉：一期一会
- ◆平成26年4月 兵庫県議会たつの市及び揖保郡選挙区補欠選挙にて初当選
- ◆平成27年4月 当選（2期目）現在 文教常任委員会委員
- ◆自由民主党兵庫県支部連合会 青年局次長



質問1 県内企業の活性化に資する県立大学について

Q ものづくり県兵庫にとって、技術革新をしていくことは重要であり、地域創生を展開するには、県内各地でイノベーションを起こしていくことが大切。県立大学の得意分野を生かした企業・自治体との協定、県内企業などとの共同研究・開発、地域からの研究受託、学内で保有する特許など知的財産の地元企業への貸し出し、大学発ベンチャーなど研究成果の地元還元が考えられる。

地元中小、特に小規模事業者との技術開発、地場産業への貢献など、地域産業の活性化に資する役割を県立大学にもっと積極的に担ってほしい。

A 答弁 県立大学は、県内企業の期待に応える大学を目指して、企業への人材供給、経営や技術等の課題解決への支援、産学連携を通じた起業や新事業展開への支援などに取り組んでいる。起業や新事業展開への支援について、**インキュベーション施設を現在整備を行って姫路工学キャンパス建替えの中で充実を考えている。先端医学工学研究センターについても、全学組織として、県立はりま姫路総合医療センターに移転し、拡充する予定をしている。**

質問2 非常用電源の適正な配置や点検について

Q 平成28年12月20日に、消防庁から各都道府県消防防災主管部長あてに、消防用設備等の点検報告制度に係る留意事項等について通知が出ている。

平成23年の東日本大震災の際、整備不良によって作動しなかった発電機が全体の41%、始動したものの途中で異常停止したものが27%、災害時など必要ときに作動しない発電機が数多く存在した。単に非常用発電機の電源を入れるだけの点検に留まっている報告も多く、**負荷運転を伴う点検の実施状況は約4割程度との調査結果もある。**

A 答弁 平成16年に豊岡庁舎と洲本庁舎が浸水し、非常用発電機が稼働しなかったという経験を生かしまして、**現在、耐震性があり、かつ浸水のおそれのない場所に設置を全て行っている。**年1回の整備点検では、庁舎を停電させる中で、エレベーターやポンプなどを作動させて、その点検を行っている。

質問3 地場産業の支援について

Q 地域を活性化させ、魅力ある地域づくりには、地場産業の振興が欠かせない。地域の人々が自分のまちの地場産業を理解し、自分の言葉で地場の産業を語れるようにする。そんな地域に誇りを持った活気ある社会にしたいと思う。

たつの市では、皮革産業のブランド化に向けて積極的に取り組んでおられる。例えば、本年たつの市内の若者がNPO法人を立ち上げ皮革のPRなどの活動を始めた。

県内には、特にファッション関連地場産業の集積がある。共に手をとり合い、連携し、上手にPRできれば、世界に誇る産品が新たに生まれてくるのではないかと。

県政150周年を来年に控え、ファッション関連の地場産業のコラボレーションやイノベーションを県が先導、支援し、地域創生に帰するべきと考える。

A 答弁 本県には、ケミカルシューズ、播州織、皮革、かばん、真珠等ファッション関連の地場産業が集積しており、歴史と伝統を守りつつ、地域ブランドの確立、産地の技術力を生かした新製品開発に取り組んでいる。県は、国内外の展示会の出展を支援することにより、ブランド力の強化を図っている。工業技術センターにおいて、多品種小ロット生産に対応した世界初の織物生産システムの開発や環境に優しいエコレザーの普及等、産地の技術開発を支援している。

県政150周年を機に産地間連携の動きを進めるきっかけとして、**国際フロンティア産業メッセの機会を活用し、ファッション関連の地場産地が一堂に会する展示会の開催を検討する。**

質問4 集落営農法人の収益力強化について

Q 本県では集落営農組織の法人化に向けた支援を積極的に行っており、平成28年度の法人化した集落営農組織数は114経営体と、平成24年度末の45経営体から約2.5倍増加した。地域の農地を守るという観点から、**技術力のある法人が、取組が十分でない法人へ技術指導をし、それらを通じてまずは全ての集落営農法人の収益力の底上げを行う必要があると考える。**

例えば、市内の全ての集落営農法人を統括する法人を設立し、一括発注による資材購入のコスト削減や、**更なる機械の共同利用等により、収益力を強化できないかと考える。**また、営農形態の異なる近隣の集落営農法人同士が連携し、農業機械や労力を融通することにより、機械稼働や労務の平準化などが図れないかとも思う。

県が集落営農法人同士をマッチングするなどコーディネート機能の役割を率先して担ってはどうかと考える。

A 答弁 第2種兼業農家が7割を占めている本県であるが、**今後の農業の展開を見定めるとき、米中心から野菜、果樹、特産物などに転換して、本県農業を維持・発展させていく必要がある。**地域の農業を担う主体としての集落営農の推進は重要。**集落営農育成員による指導や集落営農後継者育成塾の開催により、地域リーダーを育成していく。**また、集落営農組織高度化促進事業による機械導入支援などを実施して、集落営農の法人化と収益力強化のための支援を進めている。

さらに経営面積の拡大によるコスト削減に向けて、**これらの法人を核とした複数集落での広域化を進める。**集落営農法人の経営発展には、まず、新たな作物の導入などによる経営の複合化が必要。二つに、新商品開発や販路開拓などによる経営の多角化も併せて検討。三つに、新たな雇用の受入れや法人同士の合併による経営基盤の強化を図る必要がある。

こうした取組を適切に実施できるよう、現在の支援策に加えて、必要かつ確かな支援施策の検討を今後も進めていく。**基本的には集落営農法人をベースとしながら、兵庫農業の基幹産業化を進めていく。**



質問5 JR姫新線の今後の展開について

Q 平成22年度から、たつの市、姫路市、佐用町と兵庫県が協力して、「チャレンジ300万人乗車作戦」を展開し、平成27年度には300万人を達成し、さらに平成28年度は約310万人の利用があった。**地元自治体、沿線住民、鉄道事業者が一体となって、利用促進と利便性向上に努めてきた結果だと思う。**地元の小宅小学校でも、4年生がJR姫新線の車両基地見学や車掌体験などをし、12月3日の小宅公民館まつりでは、姫新線の利用と応援をお願いするティッシュ配りをもされていた。

今後、人口減少が進む中で、利用者数をいかに維持していくか、それには**利用者に限らない地域住民全体のアンケート調査**をすることもよいのでは。姫路発の最終列車の時間の繰り下げ、鉄道駅とバスの円滑な接続、乗り換えなしで三宮まで行けるようになど、よりきめ細やかな対応を求める声が出てくるかもしれない。

平成32年度には播磨自動車道が中国自動車道とつながり、**人の流れも変わる可能性もある。**JR姫新線の取組は全国に誇れる事例であり、これらを含めた広報活動も引き続き積極的に実施してほしい。

A 答弁 基盤整備として、新型車両の導入や増便による利便性・快適性の向上を図り、抜本改良を行った。次いで、沿線市町・県・JRからなる利用推進会議を設置し、住民や鉄道利用者からの意見、ニーズを踏まえて関係機関や沿線住民が一体となって利用促進に取り組んだ。沿線市町では、**駅へのアクセス利便性を高めるため、播磨新宮駅でP&R駐車場の増設や、佐用町内で全てのP&R駐車場の無料化を図っている。**今年度からは、**東舞鶴駅で駅前広場整備に着手した。**また、沿線イベントとのタイアップも実施している。

地域住民へのアンケート調査などにより、利用者の意向把握に努め、更なる利用者の増加を目指す。姫新線の成功例を生かし、山陰本線や播但線等、地域の実情を分析した上で、その路線に適した線路の改良、運行利便性の向上、利用促進策などを検討する。



質問6 県立高等学校探究活動推進事業について

Q 11月5日、県立太子高等学校で行われた西播磨地区高等学校探究活動発表会に参加した。

発表会では、西播磨地域の高校生が学校の枠を超えて、設定した三つのテーマについて、太子町においてフィールドワークを行い、それらを踏まえて研究成果を発表し、地域・企業に対して提言をされた。**高校生にとっては、地域の方々との交流を通じて、更に地域に愛着を感じたと思われる。**その若者の視点が地域の方々十分に伝わっていた。

このような活動を継続的に続け、機会を増やし、深めることで、**若者は地域に誇りと愛着を持つ。地域の方々は、そんな若者の範となり、そのことを意識し、実践することで地域全体は良くなる**と考える。今後もぜひこのような取組を展開してほしい。

A 答弁 西播磨など3地域の高校生17校68名の参加を得て実施した。西播磨では、太子町斑鳩地区の町並み形成と集客など、地域の歴史・文化や地域活性化に向けた調査・研究を行った。

発表では、太子高校、山崎高校、千種高校、佐用高校の4校の生徒がグループをつくり、兵庫県立大学の環境人間学部のご指導もいただきながら、太子町内のある小規模集落で探究活動を行ったもの。

この事業は**答えのない課題に取り組むための手法を指導するということを狙いとしており、参加生徒だけでなく、高校の関係教員にも指導のノウハウが伝わるなど探究活動の浸透に一定の成果があったもの**と考えている。

来年本格実施する高校生が考える県政150周年記念事業の中で、全ての高校において高校生が地域課題解決等に取り組むことで地域を愛し、あすの兵庫を切り開くことのできる人づくりを推進していく。



質問7 播磨科学公園都市20周年事業の評価と今後の取組について

Q 播磨科学公園都市のまちづくりは、トータルコンセプトを人と自然と科学が調和する高次元機能都市、サブコンセプトを科学公園都市・公園景観都市・国際交流都市とし、全体計画2,010ヘクタール、計画人口2万5,000人、第1工区だけでも960ヘクタールに5,100人が住む計画だったが、**20年を迎えた今、1,400人に満たない状況にある。**

一方で、産業の分譲率は概ね90%、昼間人口は6,000人に達し、立地施設についても科学技術では世界最高性能のSpring-8やSACLA、医療健康では世界に誇る治療装置のある県立粒子線医療センターなどがある。

播磨光都サッカー場は大変人気があり、今回大人用グラウンド1面、子供用グラウンド1面、フットサル等多目的グラウンド2面の合計4面が増設され、さらに148名が宿泊可能な合宿所も新たに整備をされた。**このサッカー場の活用や平成32年度に供用予定の姫路鳥取線など、西播磨地域が躍動する取組も控えている。**

A 答弁 まちびらき20周年事業の実施に当たりましては、まず第1に、住民、企業等の地域連携や一体感の醸成を図ること、第2に、多様な資源を生かした魅力の向上を図ること、第3に、事業が一過性ではなく、将来のまちづくりにつながることを目指して取り組んだ。**互いを知り合おうとする機運醸成も図られた。**旧播磨ヘリポートを活用した増設サッカー場や、旧まちづくり事務所を活用した合宿所のオープン、コスモス園の開設、農作物の直売所の充実など、将来につながる取組を実現した。

一方で、**3市町が入り組んだまちであるがゆえの地域連携の難しさや生活利便施設の更なる充実と、それを促進する土地利用計画の見直しの必要性などの課題が明確化された**ことも20周年事業の成果。

また、**姫路鳥取線の供用を契機とした交流促進や地域活動支援などの連携促進、さらには今後の商業施設等の需要動向を踏まえた土地利用計画の見直しなどに取り組み、播磨科学公園都市をより成熟し、輝くまちにしていきたい。**

